

「ノアと三人の息子たち」

2020年11月18日

あるとき、ノアはぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になった。カナンカナンの父ハムは、父の裸を見て、外にいた二人の兄弟に知らせた。セムとヤフェトは衣服を取って肩に掛け、後ろ向きに歩いて行き、父の裸を覆った。彼らは顔を後ろに向けたままで、父の裸を見ることはなかった。(創世記9章21節～23節)

神はノアと妻、三人の息子セム、ハム、ヤフェトと妻たち、そして、地の全ての生き物に対して、地を二度と滅ぼすことはないとの契約を立ててくださった。ノア一族は平安な暮らしをし、生き物たちも地に増えていった。「ハムはカナンカナンの父である」という一文が入っている。三人の息子たちから人々が出て、全地に広がっていった。ノアはぶどう園を作り、ぶどう酒を作るようになった。ある時、ノアはぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になって寝てしまった。これは「神と共に歩んだ」義人ノアの醜態であろうが、自分の天幕の中でしたことで、取り返しのつかない醜態ではないだろう。三人の息子たちの対応に焦点があるのではないか。「カナンカナンの父ハムは、父の裸を見て、外にいた二人に知らせた。」ハムハムのことをカナンカナンの父として、「カナンカナン」を強調している。ノアのぶどう酒酔い事件は「カナンカナン」がキーワードである。イスラエル人は裸を他人に見せないことが慎みであった。

ダビデが神の箱をエルサレムに運び上げる時、ダビデは喜び、跳ね踊った。それを見た妻ミカルはダビデに「一人の愚か者が恥ずかし気もなく裸になるように、仕え女や家臣の前で裸になられたのですから(サムエル6:20c)」と、公衆に裸を見せたとダビデを蔑んでいる。以来、二人は夫婦関係を続けることができなくなった。

見せてはならない父ノアの裸を見て、ハムは軽蔑を込めて笑い、二人の兄弟に「親父を見ろ」と告げた。二人の兄弟セムとヤフェトは衣服を取って肩に掛け、父の裸を見ないように、後ろ向きに近づき、父の体を覆い隠し、裸を見ることはなかった。父の醜態を見ずに、覆い隠す慎ましい振る舞いであった。

酔いから醒めたノアは、三人の息子たちの振る舞いを知って、息子たちの将来を預言した。まず末息子ハムに関して、「カナンカナンは呪われ、兄弟の僕となるように」と言った。カナンカナンはここにいない。ハムの息子である。まだいないカナンを呪い、兄弟の僕となれと命じている。そして、セムの神、主はたたえられよ、カナンカナンはセムの僕になる。更にヤフェトの土地を広げ、ヤフェトはセムの天幕に住み、安心を得て、神の祝福に与るが、カナンカナンはヤフェトの僕になる。カナンカナンは二人の兄弟に仕える僕と位置づけられている。ノアのぶどう酒酔い事件はカナンカナンへの裁きに集約されている。定着してピラミッド型の権力構造を持って、繁栄を求め、バアルの偶像を拝むカナン文化をイスラエル人は、軽蔑した。その蔑む理由を記したのではないか。ノアは洪水の後、350年生きて、950年の生涯を終えた。

続いて、ノアの系図が書かれている。ヤフェトの子孫は海沿いの諸国民になっていった。ハムの子孫はクシュ(エチオピア)、エジプト、カナンなど、カナンからエジプトに広がっていった。最初の勇士ニムロドはハムの子孫である。カナンの子孫はイスラエルと敵対した諸民族が多く、ソドム、ゴモラなどの頹廢の民族を産んでいる。セムの子孫がアブラハムに繋がっている。聖書は、三人の息子たちから諸国民が分かれ、広がったと書いているが、それは、とりもなおさず、全ての民族は神の支配の下にあるとの主張である。